



まなび館秋の鶯流狂言公演

山口の伝統芸能「鶯流狂言」の公演を開催します。受け継がれてきた「笑いのこころ」に親しむひとときをお楽しみください。

まなび館秋の鶯流狂言公演

秋の夜長のひとときを伝統芸能・鶯流狂言でお楽しみいただけます。

日時： 9月21日(土) 18時~19時
定員： 30名(先着順)
料金： 無料(申し込みは随時受け付けます)

料金改定について

今年10月の消費税率引き上げに伴い、各種利用料金等が以下のように改定されます。

○貸館利用料 ホームページをご覧ください。

○大内塗箸作り体験 860円→880円

○レンタサイクル

普通自転車

半日(4時間未満)：200円→300円

一日(4時間以上)：410円→500円

電動自転車

半日(4時間未満)：300円→400円

一日(4時間以上)：510円→600円

(消費税込み、10月1日から)

まちづくりNEWS ◆ミニ暮音小路◆

大内文化街道まちなみ協議会だより

今年度の協議会の主な活動は道路美装化の詳細の検討と豎小路や大殿大路の風景の在り方を考える事です。景観形成地区である一の坂川沿いがお手本ですが、現在ホテルが飛び交う自然豊かな川も改修されてからまだ半世紀しかたっていないのをご存知の方も多いと思います。昭和40年代に治水の為大規模な工事が行われた折に住民から蜚の住める川にしてほしいという要望が起り、当時としては珍しい護岸工事が行われ現在の素晴らしい景観となっています。この様に正しい判断がなされれば美しい風景になるという良い例なのです。

大殿の路小路も未来へ残していく風景づくりをしっかりと考えて住む人に気持ちよく、来られる方に優しいトオリを目指したいものです。



指定管理者 ~NPO 法人山口まちづくりセンター~

25 大内義弘

天下無双の名将、
將軍義満に挑む

1356~1399

官位 従四位上

菩提寺 香積寺

墓所 本行寺（堺市）

父弘世と対立した義弘は、幕府の意向に従い九州探題今川了俊による九州平定を支援、功績により豊前守護に任じられました。弟満弘との交戦の末和解、家督を相続します。

將軍足利義満は地域勢力への権力誇示・懐柔を意図した諸国遊覧の一環として1389年厳島を

参詣、その後周防国を訪れ、下松や三田尻で義弘の歓待を受けました。義弘は帰国する一行に随行して京へ上り、幕府中央政治の一員となります。

明德の乱

義満は強大化した大名の勢力削減を企て、山陰を中心に11か国の領国をもつ山名氏に対して、内紛に乗じた一族分断策を講じます。義満の挑発を機に山名氏清・満幸方は反乱を起こしました。義弘は幕府軍陣営の前線・二条大宮（今の二条城付近）に布陣、激しい戦闘の中、長刀を振るって応戦しました。義弘は戦功により山名氏の旧領国和泉（大阪府南部）・紀伊（和歌山県・三重県南部）の守護職を与えられたことにより、堺も握り、瀬戸内海交通路の東西の要衝を押え、対外貿易の基盤をつくりました。

南北朝の合一

南北朝和睦の機運が醸成されるなか、かつて大内氏が南朝に属した因縁をもち、和泉・紀伊国が南朝勢力に隣接した地の利から、南北朝合体交渉の影の立役者となります。三種の神器を南



大内義弘像（山口県立山口博物館蔵）

朝（吉野）から北朝（京都）に譲渡する際、義弘が護衛にあたりました。翌年、將軍家一族に准じるとの御内書を授かります。

倭寇の禁圧

14世紀後半東アジア各地に出現した倭寇は、密貿易や略奪・拉致を繰り返しました。倭寇に

悩まされた高麗・朝鮮王朝は、幕府や有力大名に禁圧を求めました。倭寇の根拠地は少弐氏が支配する北部九州の地で、義弘が九州平定のため少弐氏を退けると朝鮮王朝から「倭寇制圧」とみなされたようで評価を高めます。

朝鮮交易

対朝交易を独占していた今川了俊が九州探題を解任されると、義弘は朝鮮王朝との活発な交易を開始します。さらに自分は百済王の子孫であるとして証明書とかつての百済の土地を求めました。この大胆な要求に朝鮮側も当惑し、義弘の死によってうやむやになるものの、大内氏が百済王族の出であるため、朝鮮側も親近感を持ち、信頼できるとの認識につながっていきます。

倭寇禁圧や朝鮮使節の護送、その強大さから、教弘の代には通信符が与えられるなど優遇され、大蔵経の輸入など独自の交易を展開しました。

応永の乱

義満が北山第（のちの金閣寺）の造営工事を諸大名に命じたところ、義弘だけは「武士は弓矢を業とし、土木に使役すべきではない」と拒みました。「弱きを挫き強きを助ける」義満への不満から、



南北朝講和の舞台大覚寺（京都市）

政道を正すべく鎌倉公方足利氏満—満兼と連携します。一方では、義満も強大化した義弘との対立を画し、義満が義弘を討たせようとしたなどの風聞を耳にした義弘は、下向していた九州から戻り堺にとどまります。義満が相国寺住職絶海中津ぜつかいちゅうしんを使者として上洛を求めさせるも、義弘は対話の席を蹴って交渉は決裂しました。

義満は義弘討伐を決意し、3万余騎の幕府軍を編成、和泉国へ進軍します。義弘は堺城に立て籠り、多数の櫓やぐらを備えた大規模な防御を巡らせ5千余騎で迎えますが、義弘に呼応した反幕府勢力は鎮圧され、足利満兼は上洛に至らず孤立してしまいます。初戦では退けることに成功しますが、次の合戦で幕府軍は櫓を焼き総攻撃を開始、義弘は奮戦の末討死しました。京都を攻めなかった義弘は、義満との和解を願っていたのかもしれませんが。



大内義弘供養塔（堺市・本行寺）
義弘戦死の地と伝わる



妙光寺（堺市） 義弘が創建した寺院に残る大内菱



伝師成親王の墓（上宇野令）
堺籠城後、山口へ下向したと伝わる



不動院金堂（広島市）



瑠璃光寺五重塔（香山町）

山口から移築された国宝不動院金堂（広島市）と考えられています。現存する中世唐様仏殿の中で最大のもので、山口地方の建築の特徴が随所にみられます。

1371	今川了俊、九州下向 弘世とともに九州出兵
1375	豊後へ渡海
1377	肥後国で菊池軍に大勝
1379	康暦の政変
1380	この頃豊前守護に任じられる 弟満弘との内戦 弘世死去
1389	足利義満、厳島参詣 義弘上洛
1391	明德の乱
1392	和泉・紀伊守護に任じられる 南北朝合一 李氏朝鮮建国
1393	将軍家一族に准じられる
1394	義満、太政大臣となる
1395	出家する
1397	義満、北山第造営
1398	九州探題支援のため京都をたつ
1399	朝鮮王朝に百済の土地要求 応永の乱 義弘戦死（44歳）

菩提寺・香積寺

現存していない菩提寺香積寺こうしゃくじ（開山石屏子介しつぺいすかい）は今の瑠璃光寺の地にありました。その遺構である五重塔は義弘の菩提を弔うために建立されたといわれます。和様を主体とした優美な姿が洗練された京文化の粋を今に伝える、同時代を代表する建築です。

香積寺の仏殿は、天正年間安国寺恵瓊あんこくじえけいによって

9月～スケジュール

教室 OB会

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9/1	2	3	4	5	6	7
		陶芸A	陶芸A	陶芸B	陶芸B 手織	大内塗 着付
	和裁 型染①	トール	バッチ③	和裁 レザー①	大内塗	鶴流
8 竹割講習会	9	10	11 竹割講習会	12	13	14
こども茶の湯	型染	トール		レザー レザー②③		
竹細工	和裁 型染②		バッチ① 染色	和裁 バッチ②	手織	鶴流 竹細工
15	16	17	18 郷土料理教室・DIY入門 申込受付開始	19	20 そば打ち体験申込締切	21 鶴流狂言公演
					手織	大内塗 着付
	和裁 型染③	トール	バッチ③	和裁 レザー①	大内塗	
22 竹割講習会	23	24	25 竹割講習会	26	27	28
こども茶の湯	型染	陶芸AB トール		レザー レザー②③		
竹細工	和裁 型染④		バッチ① 染色	和裁 バッチ②	手織	鶴流 竹細工
29	30	10/1	2	3	4	5
そば打ち体験			バッチ 染色		陶芸AB	大内塗 着付
	和裁	トール	バッチ③	和裁 レザー①	大内塗	鶴流 竹細工
6	7	8	9	10 ホタル放流	11	12
こども茶の湯		陶芸A トール	陶芸A 竹細工	陶芸B レザー	陶芸B	
竹細工 竹細工	和裁 型染①		バッチ①	和裁 レザー②③ バッチ②	手織	
13	14	15	16	17	18	19
			バッチ 染色			大内塗 着付
		トール	バッチ③	和裁 レザー①	大内塗	鶴流

後期教室（初心者向け）・体験講座等のご案内

陶芸教室

半年間で陶芸の基礎を学びます。

日時：10月～3月

A班 原則第1火・水曜日 9:30～12:00
B班 原則第1木・金曜日 13:00～16:00

※定期指導日以外の日も実習可能です。
開講式：10月4日（金）13:30～15:30

定員：各班20名（先着順）

教材費：実費負担（土・焼成代）



染色教室

かっぽう着にシルクスクリーン・手ぬぐい板締絞りを作ります。

日時：10月～3月の原則第1・3水曜日
（全10回）、13:00～15:00

定員：20名（先着順）

教材費：8,000円



バッチワークとちりめん細工教室

針さし、ホチ等を作ります。

日時：10月～3月の原則第1・3水曜日
（全10回）、9:30～11:30

定員：12名（先着順）

教材費：6,000円



着付教室

ひとりで着物が着れるようになります。

日時：10月～3月原則第1・3土曜日
（全12回）19:00～21:00

定員：20名（先着順）

受講料：12,000円（着物は各自持参）



こどもの茶の湯教室

茶の湯の基本的な作法を学びます。

日時：10月～3月原則第2・4日曜日
（全12回）13:00～16:30

対象：小学3年生以上

定員：8名（先着順）

受講料：1,500円（1カ月）



竹細工教室

六ツ目盛籠を作ります。

日時：10月～1月 原則月2回
1)日曜日 2)水曜日（全8回）
13:30～15:30

定員：1)2)各8名

教材費：8,000円



郷土料理教室

郷土の家庭料理を学びます。

日時：火曜日コース→11月5日、12日
水曜日コース→11月6日、13日
いずれのコースも9:30～12:30

定員：各コース先着12名

材料費：1,000円



女性のためのDIY入門（2日間コース）

DIYを始めてみたい初心者を対象に工具の基本的な使い方を学び、防災ラックを作ります。

日時：11月17日（日）、24日（日）
9時30分～16時

対象：高校生以上 先着20名

受講料：6000円（2日間）

そば打ち体験

打ったそば3人前をお持ち帰り

日時：毎月最終週、9月は
29日（日）13:30～16:00

定員：14名（抽選にて選定）

体験料：1,000円（材料費含む）



申込受付：郷土料理教室・女性のためのDIY入門は9月18日（水）9時から、その他の教室は随時受付、そば打ち体験は9月20日（金）まで

山口ふるさと伝承総合センター発行

〒753-0034 山口市下野小路12

TEL 083-928-3333 FAX 083-932-1877

E-mail y-densho@c-able.ne.jp

URL <http://y-densho.sblo.jp/>

館内見学時間

9:00～17:00

入場料 無料